



健康経営を始めませんか

8月下旬から健康経営優良法人 2019 の認定基準が公開され申請受付が始まった。これは、優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」するために経産省が設計した認定制度である。認定企業からは、取材や講演など露出機会が増え、学生や取引先などの評価が向上したとの声がある。9月から全国で経産省のセミナーが開催されるなど、新しい情報が多い時期である。少子高齢化による構造的な労働力不足と労働者の高齢化対策として、健康経営を始められてはどうか。

健康経営とは「従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること」である。健康経営の効果は、従業員が心身の健康を維持し、能力を発揮することで、生産性の維持・向上、職場の活性化が図れ、結果的に業績向上につながることを期待されている。労働者の高齢化が進む今後は、従業員の健康維持・増進がより大きな課題となっていく。従業員のモチベーションや定着率の向上なども期待できる健康経営の必要性は高まっている。

健康経営は、健康経営優良法人の認定基準のフレームワークに沿って進めると良い。その第一歩は、経営者が健康経営の実施を宣言し、協会けんぽなどの医療保険者の「健康宣言」事業に申し込むことから始める。次に責任者や担当者を決定し社内に体制を構築する。その次は、健康課題の把握と対策の検討である。健康診断やストレスチェックで従業員の心身の健康状態を把握し、課題を抽出し対策を検討する。その際、業界特有の生活習慣、長時間労働、職場のコミュニケーションなどにも着目する。そして目標と行動計画を設定して実行する。実行した結果は振り返りさらなる改善を図るとというのが一連の流れである。実際の認定基準や申請スキームについては、経産省ホームページを確認されたい。2018では既に中小規模法人 776 法人が認定されている。

上記のように健康経営のプロセスは、一般的なプロジェクトと同じであるが、健康に関する情報や医学的知見は、医療保険者や産業医などの産業保健スタッフの協力を仰ぎたい。医療保険者は健診結果のデータ化を進めており、業種平均との比較などのデータを提示してくれたり、40 歳以上の高リスク者を抽出し保健指導を無料で行ってくれる大変ありがたい存在である。まずは、医療保険者から「健康宣言」事業のパンフレットと申込書を取り寄せたい。

(執筆者：Cの会 小川亮一)

※ J R S 経営情報の中から、次のコンテンツを参考にしてください。

- 中小企業の健康経営について・・・・・・・・・・・・・・・・ (2016-0550)
 - 中小企業の健康経営の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・ (2017-0769)
 - 福利厚生制度に関する問題点と今後の方向性・・・・・・・・ (0104-1389)
 - 中小企業のリスク対策①中小企業の経営リスクの種類・・・・・・・・ (2016-0610)
- () 内は情報番号です

なお、お客様にコンテンツを提供される場合には、最初のページに「サンプル」と表示してください。またお探しの情報が不明な場合はご連絡ください。(☎0120-89-0240)